

（１）芸術文化情報発信サイトに関する取組

関連する実行プラン
1ー（１）－① 芸術文化活動情報発信の基盤整備
1ー（１）－② 芸術文化に関する情報内容の充実
1ー（２）－① 芸術文化の魅力を伝える機会の創出
3ー（２）－② 芸術文化活動の担い手と受け手をつなぐ機能の充実
4ー（１）－① 芸術分野がつながる活動の推進
5ー（１）－① 芸術文化活動を行う個人・団体のネットワークの構築
5ー（１）－③ 芸術文化の活動場所の把握
令和6年度取組
◇情報発信サイト公開準備
◇情報発信サイト周知 ・コンテンツや対象者をフォーカスした周知方法の実施。
◇プッシュ型情報発信の実施 ・Instagramの開設。サイトの更新情報を中心に、サイトへのアクセスを促す導線づくり。 ・動画や画像等Instagram機能を活用や効果的な発信方法の検討、実施。
◇情報発信サイトの活用方法の検討（魅力の発信、交流会、相談機能） ・サイトを通じた芸術文化の考え方の普及。 ・まどかフェスティバルでの運動事業の実施。
◇個人・団体の情報収集 ・サイト利用に係るアーティスト等のフォロー。
◇活動場所の情報収集とサイトへの掲載
結果
【補足資料1】参照

（２）芸術文化を支える人材育成のためのアートマネジメント研究

関連する実行プラン
1ー（２）－① 芸術文化の魅力を伝える機会の創出
3ー（１）－② 芸術文化活動の企画・運営者（団体含む。）への支援
3ー（２）－① 芸術文化活動を支える人材の育成
令和6年度取組
◇九州大学長津研究室、大野城まどかびあとの共同研究として実施 ・今後、実施を進めるための方向性やゴールの検討と制度の構築。 ・担い手が活躍する仕組みの検討。
<研究から構築する制度の目的>
市民と芸術文化の距離を近づけ、芸術文化の楽しさ等を伝えるためのつなぎ役として活躍してもらうため、スキル向上だけでなく、つなぎ手としての役割を果たしてもらうための人材の育成と場づくりを目指す。
結果
【補足資料2】参照

（３）芸術文化の他分野への活用

関連する実行プラン
4ー（２）－② 芸術文化の他分野への活用
令和6年度取組
◇連携会議の実施（年6回程度を予定）
◇実施内容（案） （１）芸術文化情報サイト「ツナグト」について ・職員説明会の実施（連携会議委員含む職員）。 ・周知方法や今後の活用方法の検討。 ※周知方法の検討については、広報部門の出席の依頼も検討。 （２）まどかびあ課題の検討 ・まどかびあが市に協力してほしい事項や課題となっている事項について、協議を行うことから芸術文化分野と他分野のつながりを検討する。 （３）芸術文化を用いた事業の調査、公表 - 芸術文化がより市民の身近なものと感じてもらえるように、芸術文化を用いた取組を知ってもらう必要がある。連携会議参画課の分野（福祉、高齢者、教育等）において、芸術文化を用いた事業はすでに実施していると考えられることから、所管団体に対して調査を行い、情報を収集する。収集した情報は、市民や他団体に伝え、教習するなど、展開できるような取組を検討する。
結果
◇連携会議の実施 ・芸術文化やプランに関する考え方の説明 【補足資料3】参照 - より芸術文化についてイメージしてもらえるように、出前講座と類似した形で実施。
◇連携会議の在り方の検討
実行プランのひとつである「連携会議の在り方の検討」を行うために、昨年度までの連携会議の様子を踏まえ、連携会議の現状や課題を整理し、あり方を検討する方が、闇雲に会議を実施するよりも現実的であると考え、見直しを実施。
<連携会議の課題>
・会議が形骸化しており、コミュニティ文化課の議題について一緒に考えてもらっているような状態となっている。他分野の活用という観点に広がっていない。
・会議出席課の役割が十分に伝わっておらず、出席課の主体性が低下している。
・プランの策定やサイトの仕様検討など大きなテーマがなく、協議しづらい。
・連携会議の目的が具体的に事業や取組につながるものとなっていない。
・芸術文化に関する他分野の連携について、どうすればよいか十分に伝えきれていない。
<実施内容>
・連携会議委員に対し、アンケートを実施し、今後の連携会議の在り方を考える材料とする。
<今後実施すること>
・実行プランを達成するための取組となるために、不足している視点や課題の整理。
・事務局で感じている課題やアンケート結果を整理した上で、連携会議の在り方を形にする。

◇芸術文化を用いた事業の調査
・連携会議関係課に限らず、全庁的に芸術文化を用いている事業についてアンケート調査を実施。
・アンケートの内容について、連携会議委員に目を通してもらい、回答しやすい内容となるよう意見をもらう。
次年度への課題
・今年度は、予定通り実施することができず、現状の課題の把握や事業の調査に留まってしまった。
次年度は、連携会議の在り方について。課題を踏まえ、形にする。
次年度以降の方針（案）
・連携会議の在り方や役割、ゴールを明確にし、連携会議委員内でも目的や役割が共有できるような取組とする。
・連携会議委員内の取組にかぎらず、本実行プラン（他分野との連携）そのものの目的を達成するための取組を検討する。

（４）芸術文化の考え方の普及や芸術文化活動の周知

関連する実行プラン
2ー（１）－① 誰もが体験・鑑賞できる環境づくり
2ー（１）－② 誰もが体験・鑑賞できる機会の創出
3ー（１）－① 若い世代の芸術文化活動の担い手の育成
4ー（２）－① 芸術文化活動を通じて全ての人々が地域と関わる機会の充実
令和６年度の取組
◇大野城市まちづくり出前講座へのメニュー化
◇プランの周知（芸術文化に関する考え方の普及）
・コミュニティ文化課主催イベントの場を活用した周知。
・芸術文化情報サイト「ツナグト」を活用した周知。
・市の関係団体や商工業等へのアプローチ方法の検討及び実施。
◇芸術文化を活用した事業例の蓄積
・考え方や取組を周知するための材料を増やす。
◇コミュニティセンター等での芸術文化体験イベントの実施、取組の周知
・「おしゃべりワークショップ わたしが知ってる大野城のはなし」実施。
・取組の幅広い周知方法の検討、実施。
◇芸術文化に関する取組の可視化、周知
・プランの目標である子ども、高齢者、社会的少数者等の取組を把握し、参加を促せるような周知方法を実施する。
結果
＜プランの周知（芸術文化に関する考え方の普及）＞
・コミュニティ文化課主催事業の場を活用した周知。
・芸術文化情報サイト「ツナグト」を活用した周知。
・市の関係団体や商工業等へのアプローチ方法の検討及び実施。

＜芸術文化を活用した事業例の蓄積＞
・全庁的な調査の実施（予定）
＜コミュニティセンター等での芸術文化体験イベントの実施、取組の周知＞
・まどかフェスティバルでの芸術文化体験イベント（荒天中止）
・ランドセルクラブでの表現体験ワークショップ（ファシリテーター講座の一環として実施）
・文化連盟による文化体験事業実施（茶道、太鼓）
・まどかびあによるダンスワークショップ（４コミュニティセンターにて実施）
・演劇ワークショップ「わたしが知ってる大野城のはなし 東地区の巻」【補足資料４】参照
＜芸術文化に関する取組の可視化、周知＞
・事業レポートの作成、ツナグトへの掲載
課題
＜ハンドブックの周知及び活用＞
・PR 場所が固定されているため、新たな周知先や周知方法を検討する必要がある。
・ハンドブックの概要の説明など、触れてもらうためのきっかけを作る。
＜身近な場所での芸術文化体験イベントの実施＞
・より人が集まりやすい時期、日程を検討しながら、引き続き次年度以降も実施する。
・事業の実施だけでなく、成果の周知など、その後の展開も検討する必要がある。地域でも、芸術文化活動に取り組んでもらえるように、関係者などに、届く形で周知する方法を検討する。
＜多様なジャンルの体験ができるイベントの検討＞
・多様なジャンルを体験できる機会の創出については、文化連盟が、２つのジャンルを体験できるイベントを開催した。継続し、様々なジャンルが対象となるように、文化連盟に対し、情報提供及びサポートを行い、協力をいただく必要がある。
＜芸術文化に関する取組の可視化、周知＞
・コミュニティ文化課主催事業の発信が多く、社会的少数者等を対象とした事業の発信は１件（チャレンジアート展）にとどまった。
次年度以降の方針
・事業の実施にとどまらず、プランの中で取り組んでいることを具体的に、職員や市民、関係団体に届く形でアプローチする。
・多様なジャンルを体験する機会については、文化連盟やまどかびあなど関係団体にも協力を仰ぎながら、体験の機会を提供できる方法を考える。
・より多くのジャンルの取組を可視化できるように、コミュニティ文化課だけでなく、事業主催者への依頼やレポーター制度等を活用し、発信できるよう働きかける。

（５）芸術文化の担い手と受け手をつなぐ機能の充実

関連する実行プラン
3－（２）－② 芸術文化の担い手と受け手をつなぐ機能の充実
結果
一部実施（ツナグトを通じた芸術文化情報の周知）
課題
・相談機能として、持たせる役割を明確にする必要がある。
次年度以降の方針
・他の取組の状況を鑑みながら、継続的な相談機能を検討する。 ・芸術文化情報サイトツナグトを、活動につなげるツールとして相談機能の一部を補完できるように使用方法や周知を行う。

（６）地域の特性を活かしたイベントの実施支援

関連する実行プラン
3－（２）－② 地域の特性を活かしたイベントの実施支援
結果
ふるさと館での事業の実施【補足資料5 参照】
次年度以降の方針
・継続的な実施及び事業間の連携の検討。